

2024年3月21日

車両側面カメラを利用した駅ホームでの安全確認方法の検証試験について

近鉄では、列車が駅を発車する際、車両の側面とホーム間の安全確認を乗務員の目視により行っていますが、このたび更なる安全レベル向上を図るため、車両側面にカメラと運転室にモニタを設置し、モニタに表示される映像の視認性を検証します。

詳細は以下のとおりです。

1. 実施概要

(1) 実施時期

2024年4月～

(2) 車両側面カメラ設置車両・設置箇所

2両1編成と4両1編成の2編成において、1両あたり片側2箇所（両側4箇所）設置

(3) 実施区間

難波線・奈良線・京都線・橿原線・天理線

(4) 検証内容

昼間、夜間および悪天候時など、さまざまな環境において車両側面のカメラで撮影し、モニタに表示される映像の視認性を検証します。

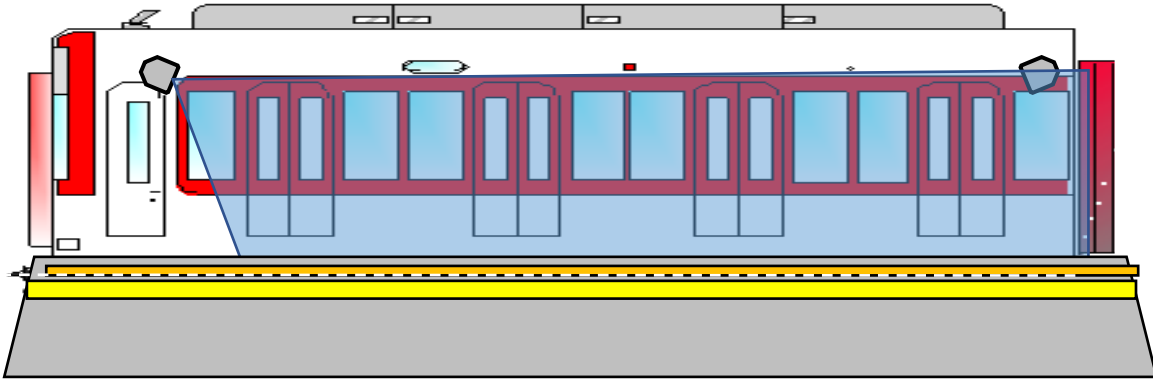
2. 今後の計画

検証結果を踏まえ、今後の導入計画を検討します。

3. その他

映像は駅のホームカメラと同様、列車出発時の安全確認を検証するために撮影することを目的としており、特定の個人を識別するものではありません。

【カメラの設置箇所と撮影範囲】



【運転室カメラ表示モニタ】



【車側カメラ】

【SDGsへの貢献】

車側カメラ設置による、駅ホームにおける列車発車時の安全確認のレベル向上

(9. 産業と技術革新の基礎をつくろう)

(11. 住み続けられるまちづくりを)



近鉄グループは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

(以 上)